

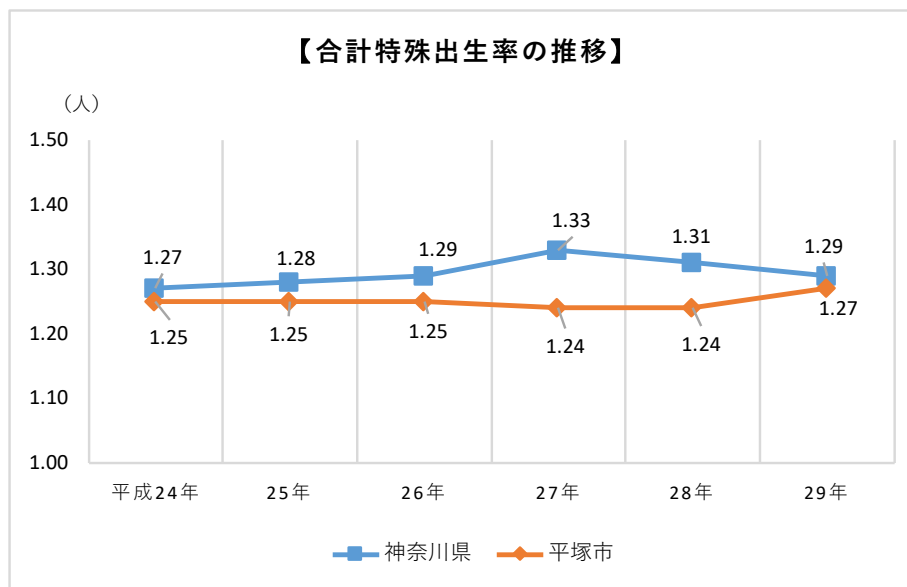
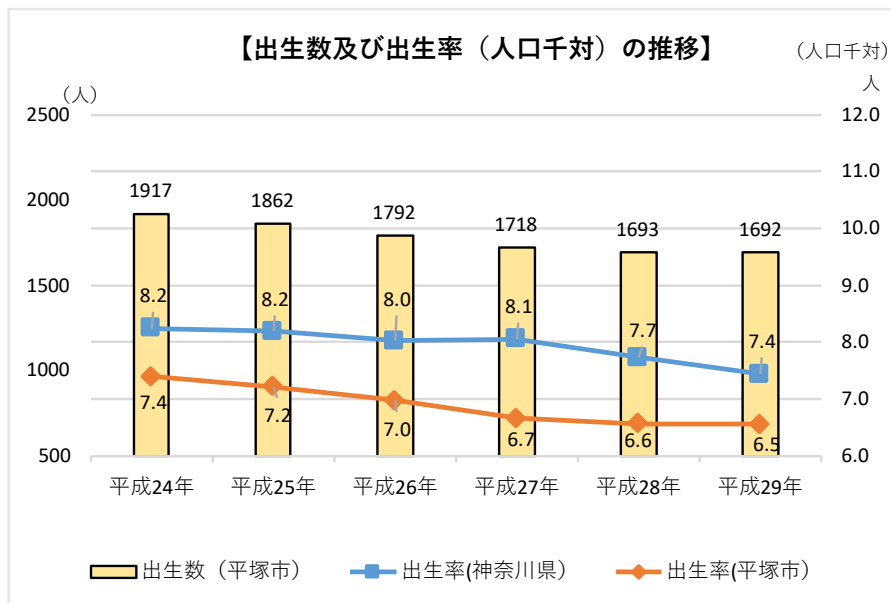
資料（9ページ～20ページ部分）の追加です。
資料21ページ以降のページ番号を繰り下げます。

（6）出生の動向

本市の出生数は、年々減少していますが、平成27年から緩やかな減少となり、平成28年は1,693人、平成29年は1,692人でほぼ同数となっています。

出生率（人口千対）でも年々減少し、県より低い値で推移していますが、平成27年からは減少傾向が緩やかになっています。

合計特殊出生率も年々減少し、県より低い値で推移していますが、平成29年は1.27に上昇し、県の値に近づいています。

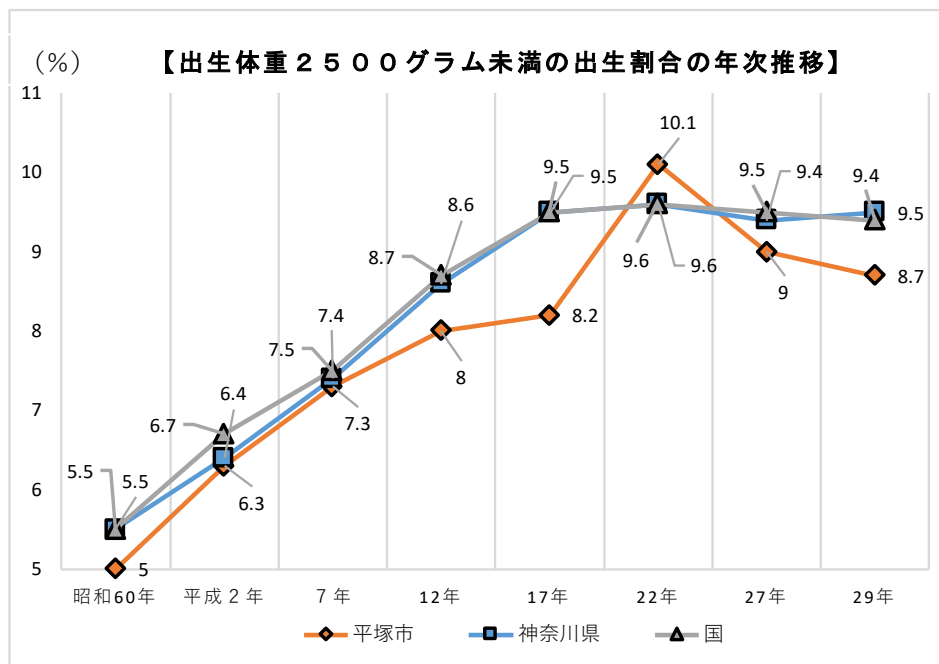


2 母子保健の状況

(1) 出生時体重2,500g未満の出生割合の年次推移 ●●●●●●●●●●

本市の出生時体重2,500g未満の出生割合の年次推移を見ると、昭和60年から平成22年にかけて、平均すると5年毎に1ポイント程度増加しています。

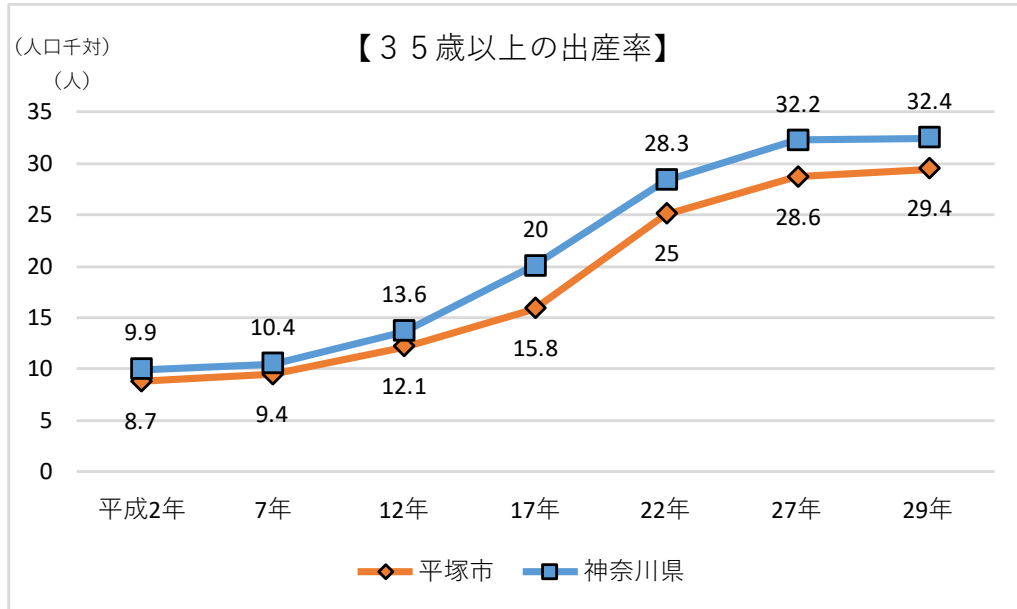
国、県と比較すると、平成7年まではほぼ同程度で推移していましたが、平成12年、17年は国、県より低く、平成22年は国、県より高くなっています。平成27年、29年は再び国、県より低くなっています。



資料：(国) 国民衛生の動向
(県) 神奈川県衛生統計年報
(市) 平塚市健康課未熟児集計

(2) 35歳以上の出産率の推移

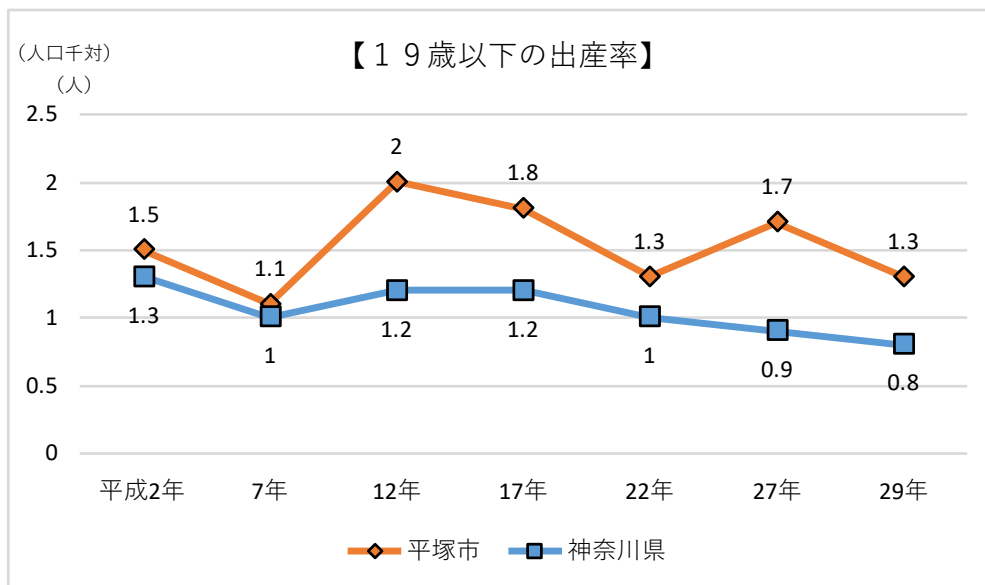
本市の35歳以上の出産率は、平成17年から22年にかけての5年間で約10%増加しましたが、平成22年から27年にかけての5年間では3.6%の増加にとどまりました。県と比較すると、平成17年以降は県より3～5%程度低い値で推移しています。



資料：神奈川県衛生統計年報

(3) 19歳以下の出産率の推移

本市の19歳以下の出産率は、1～2%で推移していますが、県内はも緩やかな減少傾向にあります。



資料：神奈川県衛生統計年報

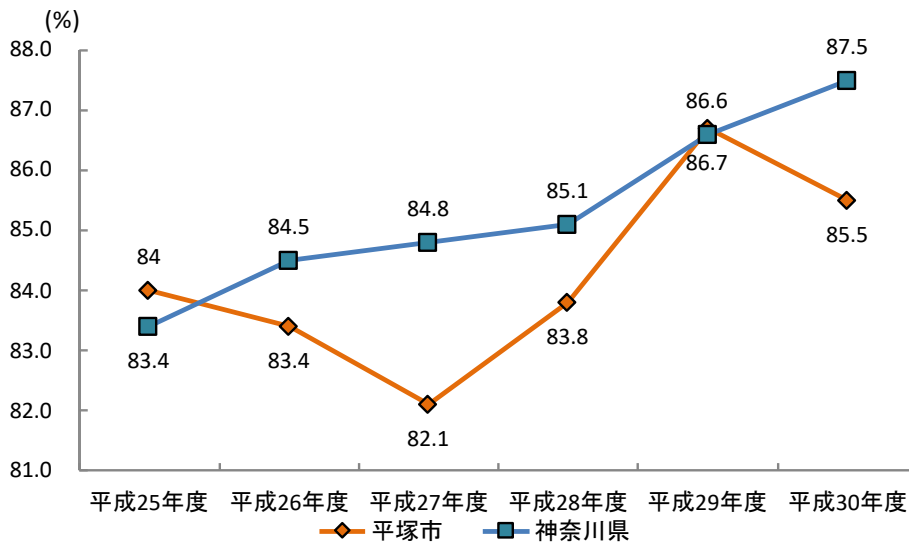
(4) 歯科保健の状況

平成30年度の3歳児でむし歯のない割合は85.5%で増加しています。1人で6本以上むし歯を保有している割合は、県と比較すると高い値ですが、減少傾向です。

むし歯予防効果のあるフッ化物については、フッ素の利用方法を知っている保護者の割合として、「フッ素塗布」「フッ素入り歯磨剤」を知っている方の割合が70%以上となっており、80%以上の方が何らかの方法で利用しています。

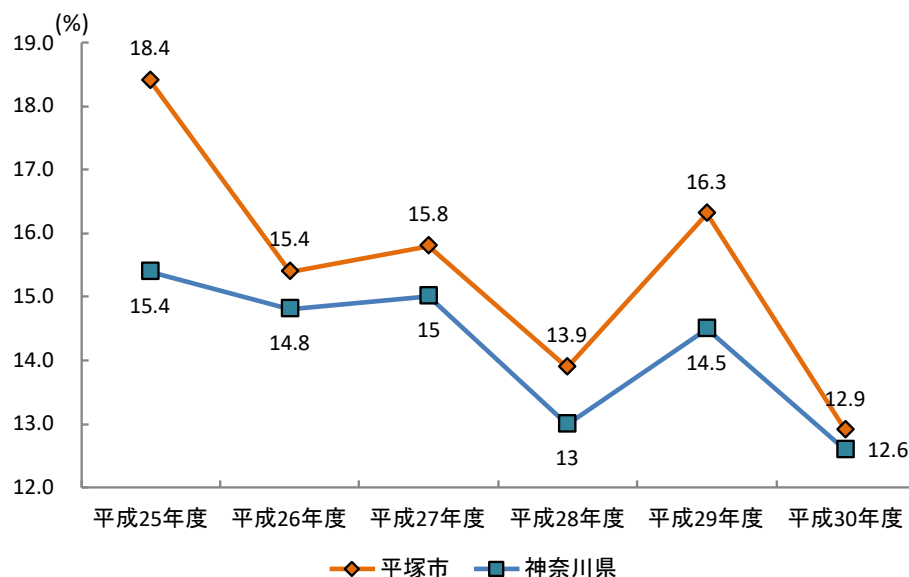
中学1年生でむし歯のない割合は72.6%で増加していますが、初期むし歯がある子どもは13.7%、歯肉に炎症のある子どもは24.4%と、むし歯や歯周病の予備軍は横ばいとなっています。

① むし歯がない3歳児の割合



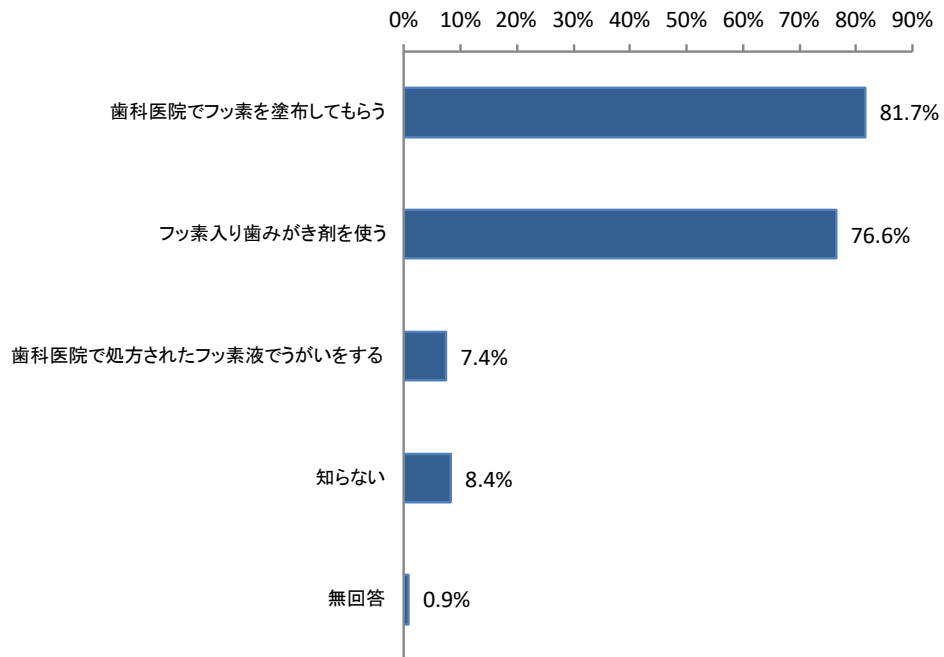
資料: 神奈川県母子保健報告集計、平塚市3歳児健康診査

② むし歯が6本以上の3歳児の割合



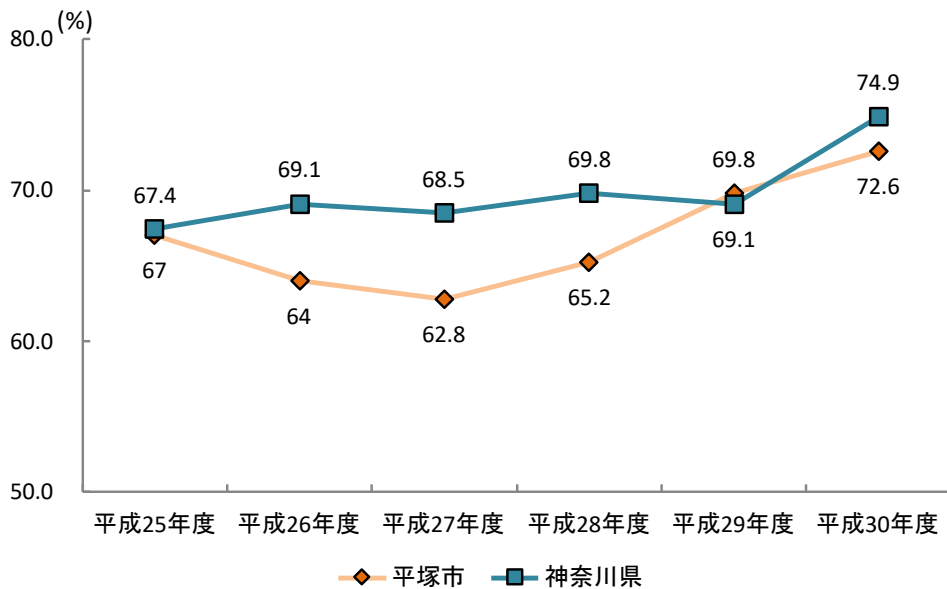
資料: 神奈川県母子保健報告集計、平塚市3歳児健康診査

③ むし歯予防としてのフッ素の利用方法を知っている保護者の割合



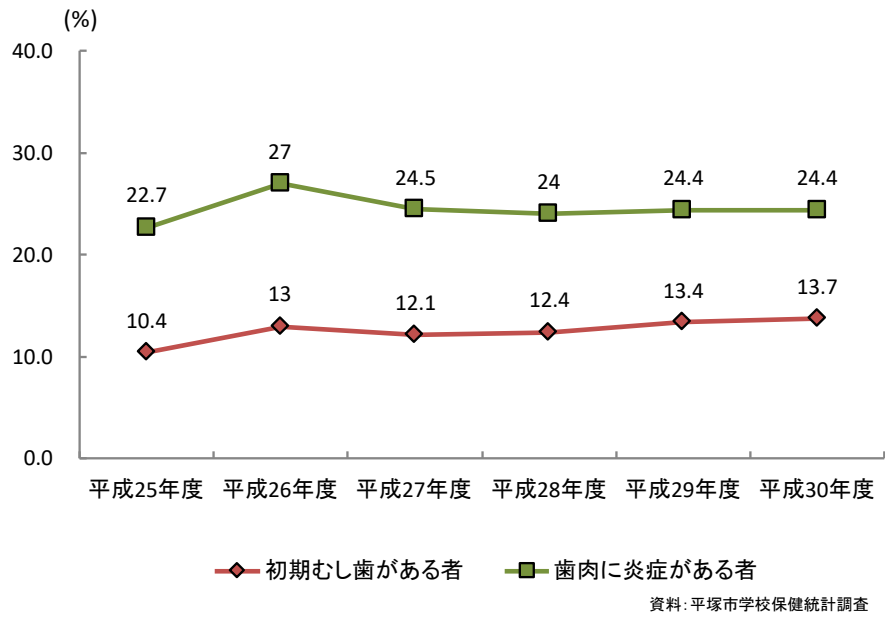
資料: 平塚市子育て支援に関するアンケート調査(平成30年度)

④ むし歯がない中学校1年生の割合



資料: 文部科学省学校保健統計調査、平塚市学校保健統計調査

⑤ 初期むし歯・歯肉に炎症のある中学校1年生の割合

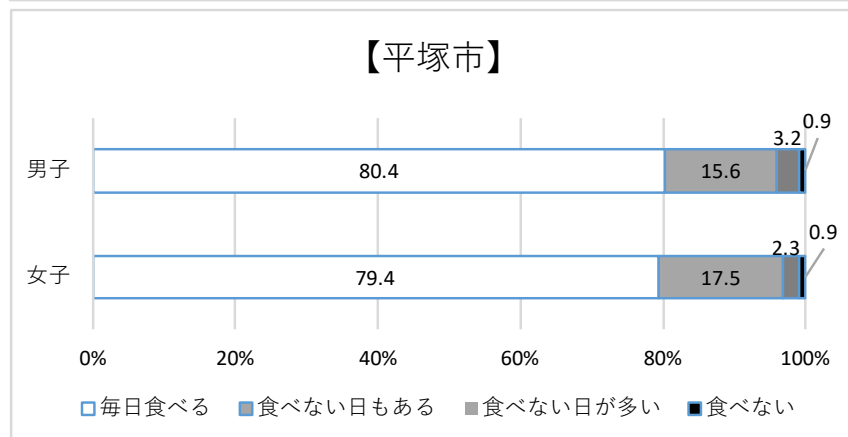
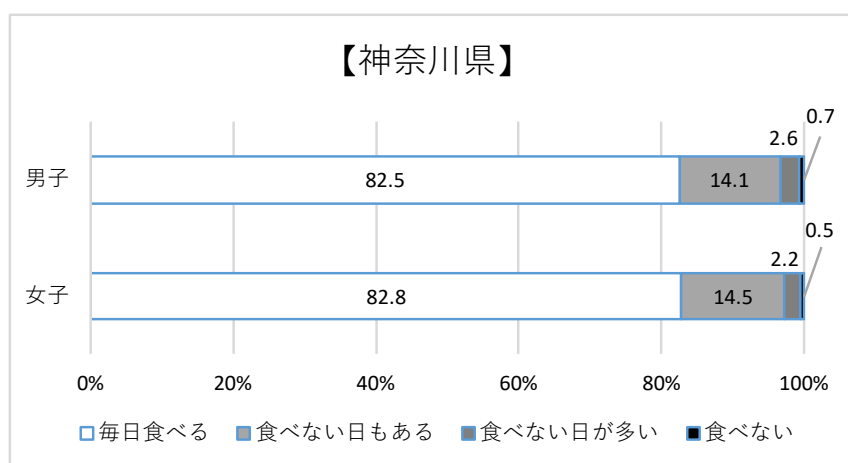
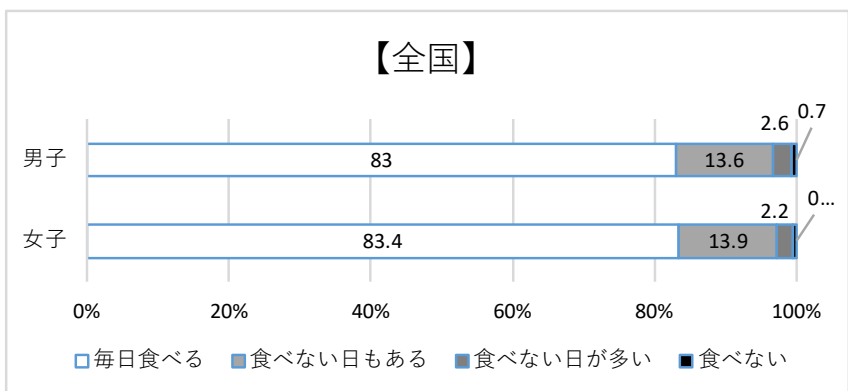


(5) 朝食の摂取状況

小学校5年生の朝食の摂取状況について、全体的にみると朝食を毎日食べる割合は、男子より女子のほうが高くなっています。本市の小学5年生においては、国や県と比較すると、毎日食べる割合は低い状況です。

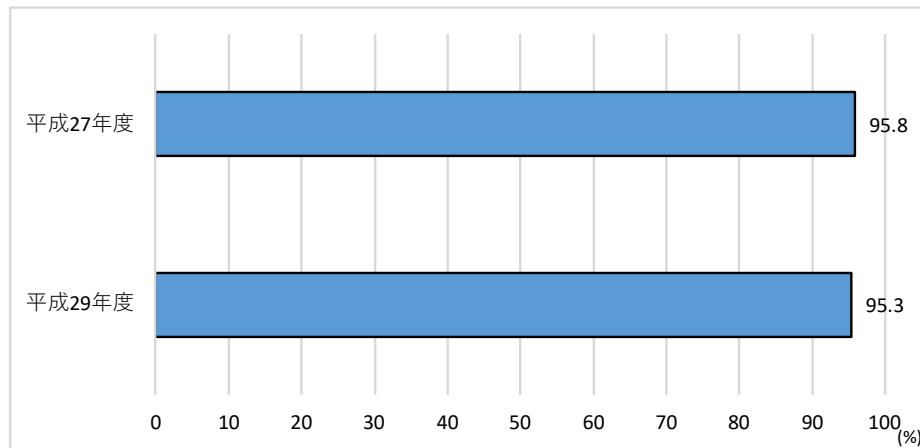
本市の朝食を毎日食べる5歳児、小学校5年生を平成27年度と平成29年度を比較するとともに減少しています。

① 小学校5年生の朝食の摂取状況



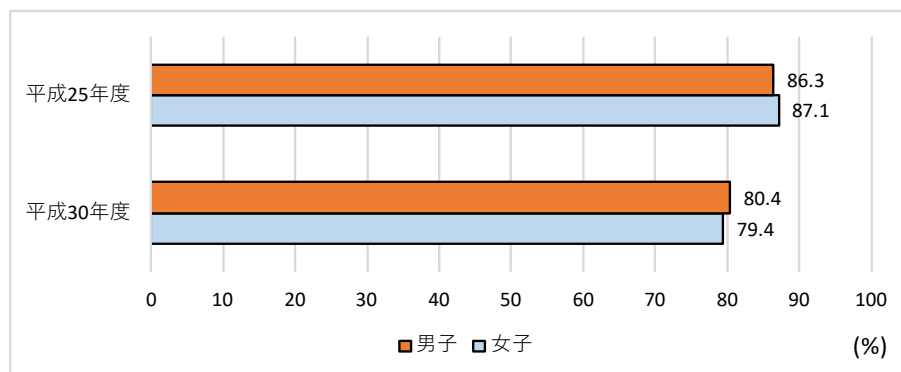
資料：平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査

② 朝食を毎日食べる5歳児の割合



資料：平塚市5歳児生活実態調査

③ 朝食を毎日食べる小学校5年生の割合



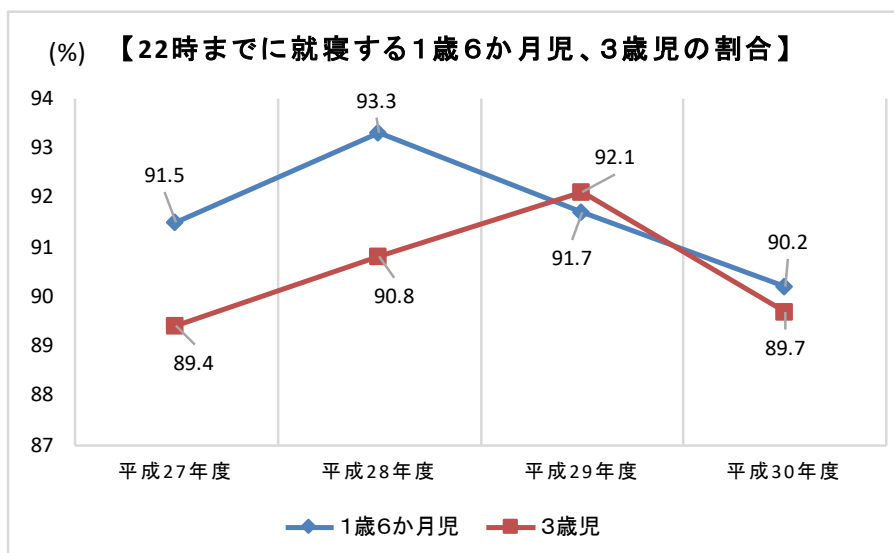
資料：平塚市健康増進計画



(6) 22時までに就寝する幼児の割合 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

① 1歳6か月児、3歳児

本市の状況は、平成27年度と平成30年度を比較すると、1歳6か月児は減少傾向にありますが、3歳児は横ばいです。

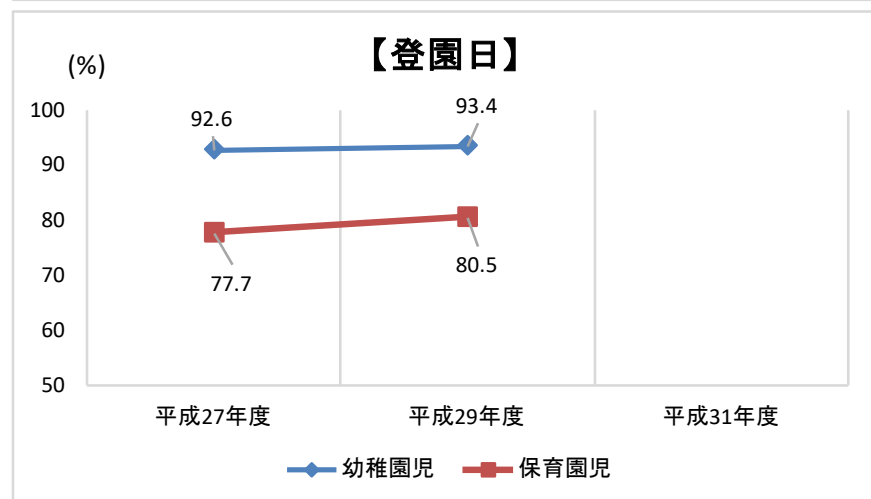
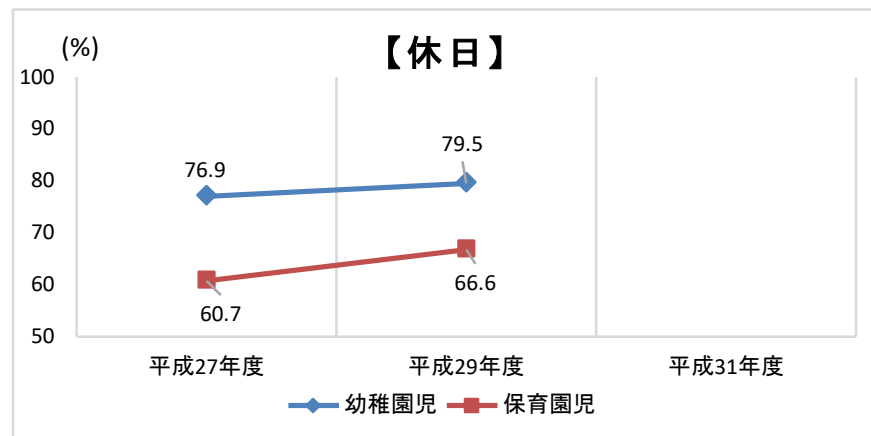


資料：平塚市健康増進計画

②5歳児

本市の状況は、22時までに就寝する5歳児は増加しています。また、休日に比べると登園日のほうが22時までに就寝する児の割合が多いです。

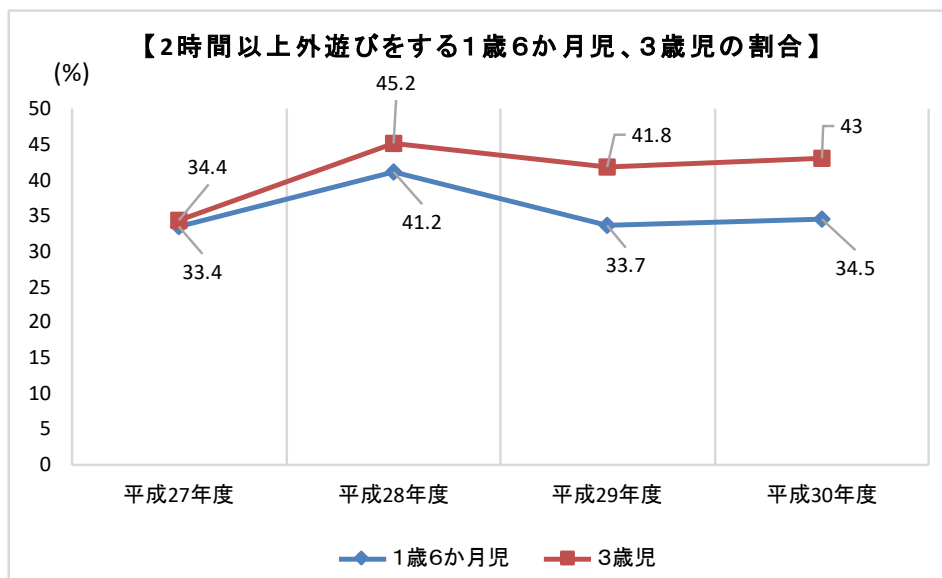
1歳6か月児及び3歳児に比べると休日の及び、保育園児については休日・登園日ともに減っています。



資料：平塚市5歳児生活実態調査

(7) 2時間以上外遊びをする幼児の割合

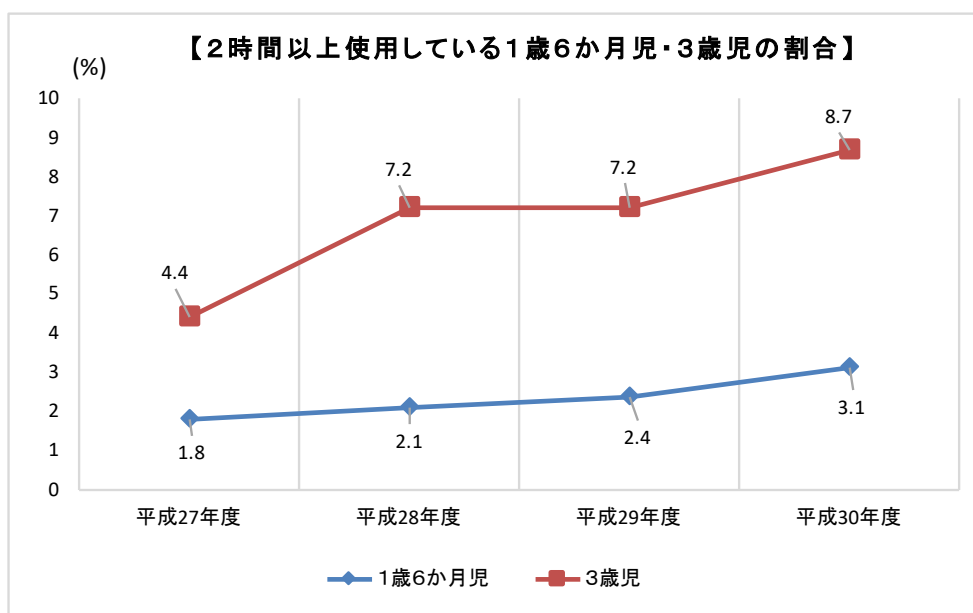
平成29年度は1歳6か月児、3歳児ともに減少したもののここ4年間でみると増加傾向にあります。



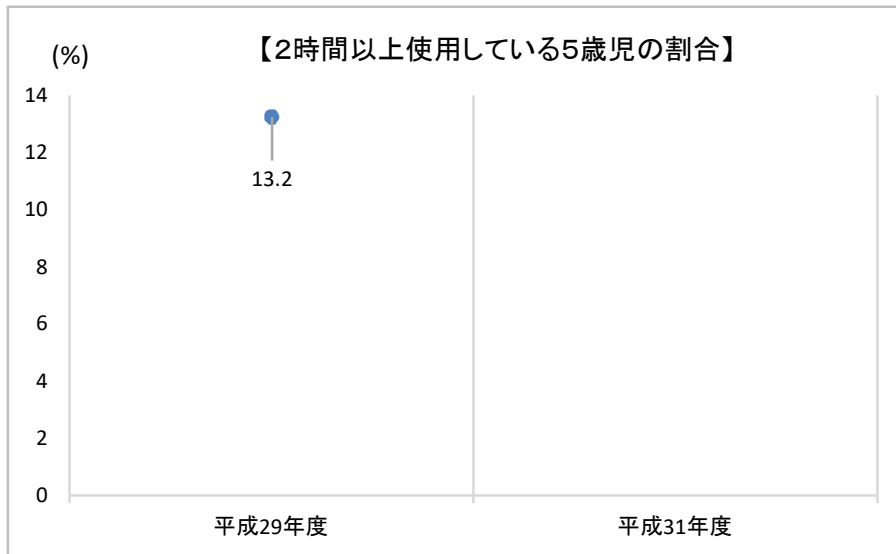
資料：平塚市健康増進計画

(8) スマート・フォン、タブレットの使用時間

本市の状況は年々増加しています。



資料：平塚市1歳6か月児、3歳児健康診査

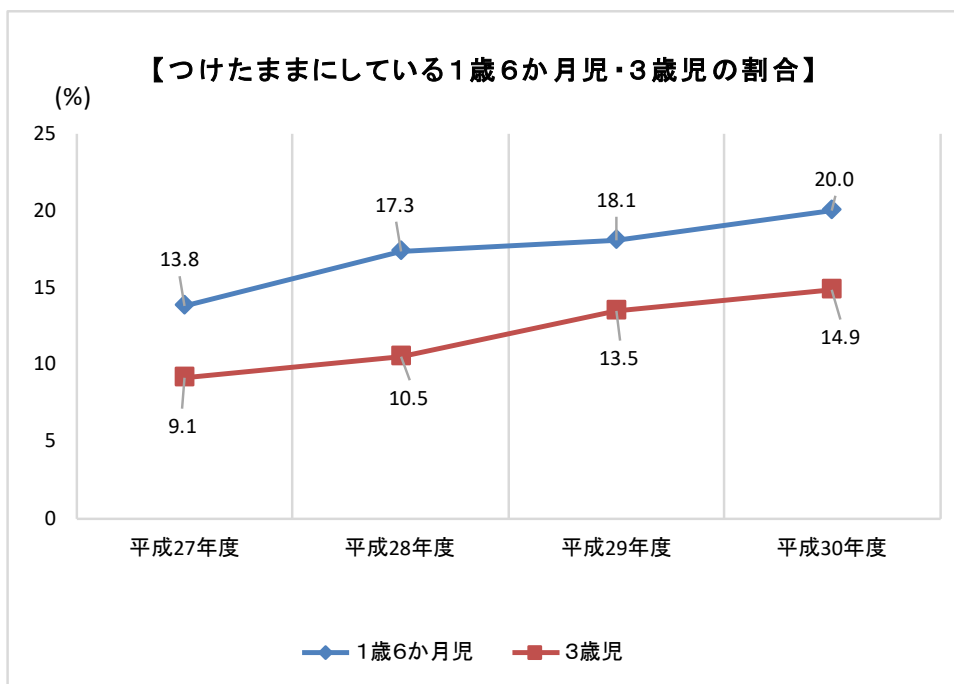
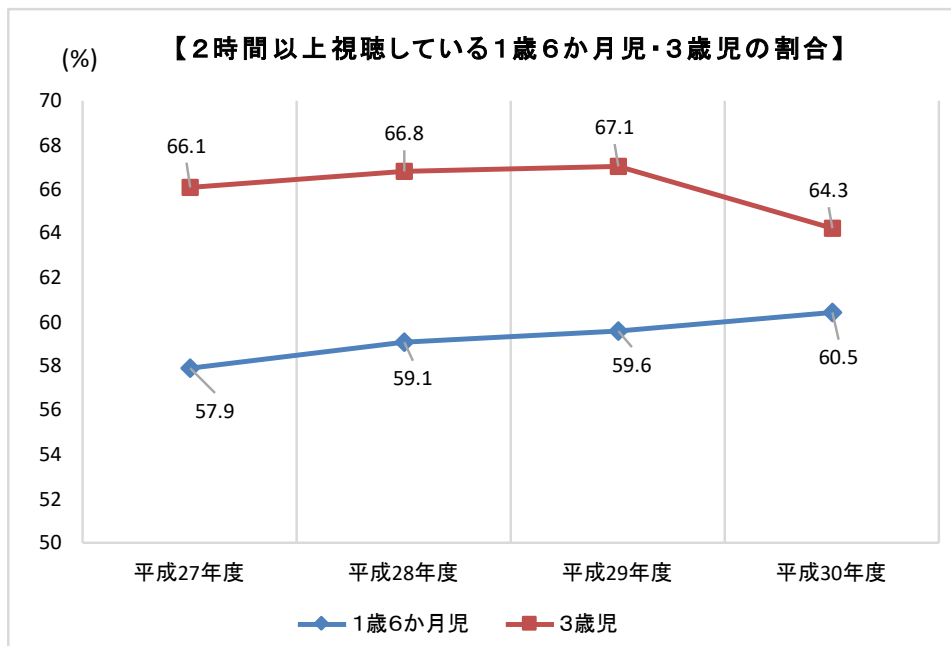


資料：平塚市5歳児生活実態調査

(9) テレビ、DVDの視聴時間・・・・・・・・・・・・・・・・

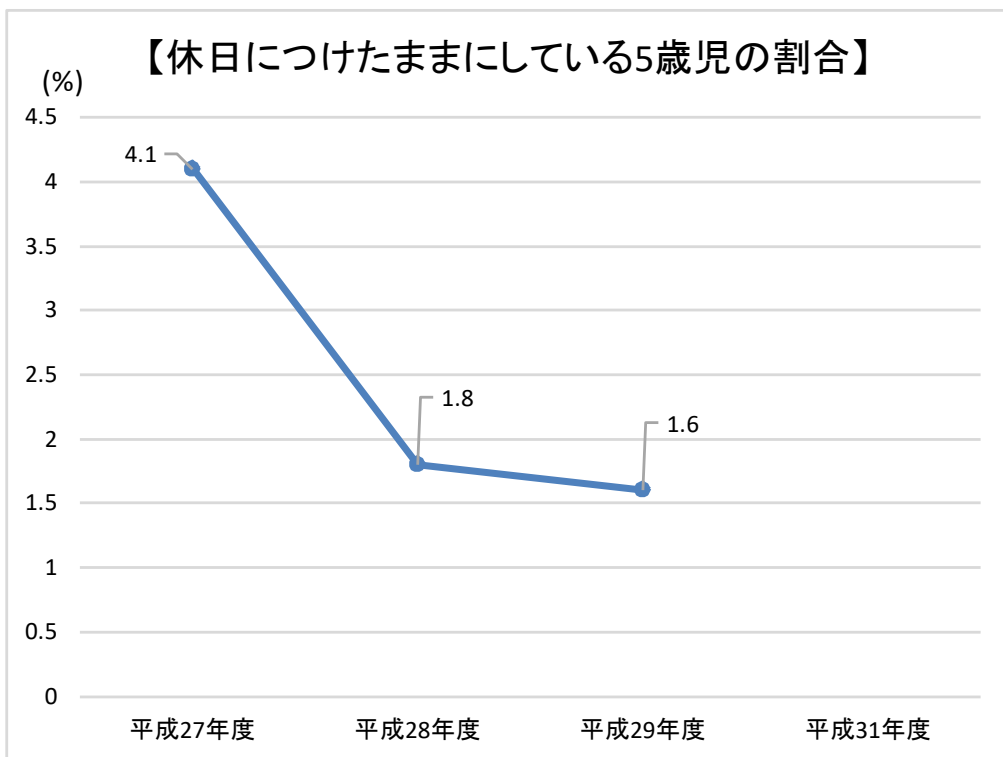
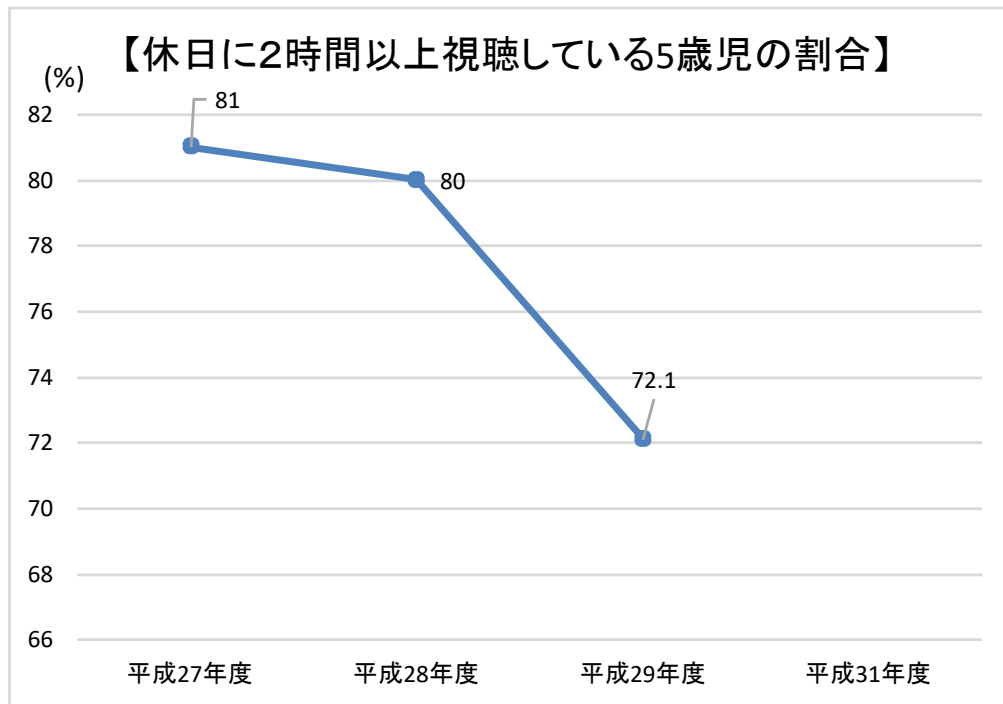
本市の2時間以上テレビ・DVDを視聴している幼児の傾向について、1歳6か月児は微増していますが、3歳児は減少傾向にあります。しかし、つけたままにしている割合は両者とも増加傾向にあります。5歳児は、減少傾向にあります。1歳6か月児、3歳児に比べ割合が高いです。年齢が上がるとともに割合が高く傾向にあります。つけたままにしている5歳児は、年々減少傾向にあります。

① 1歳6か月児、3歳児



資料：平塚市1歳6か月児、3歳児健康診査

②5歳児（休日）



資料：平塚市5歳児生活実態調査

